

エリアマネジメント事業 (里山公園の維持管理)を終えて。

奥畑谷戸を中心とした場所に、今後どのような公園を作るべきか。このテーマから、全4回にわたるワークショップが開催されました。当会としてはこのテーマについて、中心的な役割を担いメンバー一同が活動してきました。去年9月に第1回をスタートとして、既に半年が経過し、今年2月には第4回を無事終える事ができました。活動に当たり中心的役割を担って頂きました高松さんや、第3回目活動で豚汁の準備手配等に尽力頂きました坂本さん夫妻、4回にわたる活動に参加頂きました会員参加者の皆様には改めてお礼申し上げます。

4回にわたる活動テーマとして、
第1回 / みんなで奥畑谷戸公園予定地内の里山を調べよう！
第2回 / 里山ウォーキング and どんぐりひろい
第3回 / みんなで里山を育てよう！ PART2 草刈り体験

第4回 / 公園のテーマ理念を共有しみんなで今後の活動を考えよう！
が、開催されました。色々な団体からの参加があった中で、当会からは4回延べ人数27名の参加と、関連として端数倶楽部から8名の参加を得て、参加人数においても中心的役割を担えたものと参加者に対して感謝致します。全4回の活動報告については別途高松さんに報告書をまとめて頂いており、関連団体へ最終報告後に改めて皆様に公開させて頂く予定にしていますので、あと暫くお待ちください。

私の個人的見解としては全4回を通じて感じた事は、メンバー全員が一致協力して今回のワークショップを盛り上げて頂いた事、当会がワークショップの中心的な推進団体として活動ができた事、他団体との交流が図れた事、等は大きな財産ができたと思います。そして何よりも将来のあるべき公園づくりの案を今回の



梁川 貴司

ワークショップに参加した事から、提案できるイメージができてあり、今回参加された他団体の方も含めて、共有化できたことは今後の活動の方向性が明確化され、進路を誤らない指針を得る事ができました。

今後しばらくは時間をおいて市民を中心とした公園づくりに移行していくものと思われませんが、今回のワークショップで培ったノウハウを新たな推進団体に対し協力して、皆に愛される素晴らしい自然公園が出来る事を楽しみにしたいと思います。

“新会員の仲間募集”

里山保全活動やオオタカ、サンショウウオの調査など、会員として一緒に活動しませんか？
会員の皆様のお知り合いで、この方は是非当会で活動して欲しいという方がいましたら、お誘いをお願いします！



見学だけでもOK！

毎月第1日曜日
14時から運営会を行っています。

場所：稲城市城山体験学習館 学習室

入会申込先：NPO南山の自然を守り育てる会

事務局：梁川（やながわ）携帯 090-6658-7611

メールアドレス minamiyama@gmail.plala.or.jp

去る1月27日(金)オオタカ調査、 2、3月の予定について組合、調査会社の方々に 同道、都環境局自然環境部を訪問

希少猛禽類オオタカについて、東京都環境評価条例および自然保護条例手続きの結果として事業実施に伴う工事の影響に関するモニタリング調査が、義務付けられていて、わが南山の自然を守り育てる会も、平成18年以降、約5年以上に渡り参加しているものです。オオタカの繁殖期は1～8月で特に2～3月は、求愛、造巣期なので月2回行われ2月2日と19日、それぞれ参加しました。現地調査と平行して、日大の葉山先生にアドバイスをうけています。

シラカシとコナラ

南山も伐採が進み、赤土などの裸地が目立ってきた。それだけに残された樹林は大切に思える。

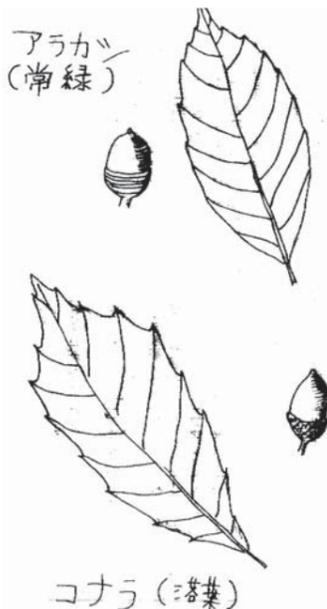
南山のような里山で特に多いのが、いわゆる団栗の木だ。その種類は幾つもあるが、冬の時期に見える特徴で大きく二つに分けられる。まずシラカシ、アラカシ、スダジイ、マテバシイなどは冬でも緑の葉が残っている。すなわち厚く光沢の有る葉を持ち、また暗い林の下でも発芽して育つ事が出来る常緑樹だ。それに対しコナラ、クヌギなどは冬に葉を落とし、薄い葉を春いっせいに芽吹く落葉樹だ。種子は明るい林床に芽吹いて素早く成長する事ができる。

こうした特徴のため、伐採直後や山火事後の荒地ではコナラなど落葉樹が先に成長し、やがて林を作る。その後、林床が暗くても育つシラカシなど常緑樹の芽が育ち、やがて落葉樹に取って代わり年中暗い森を作る。攪乱が無ければ永い間常緑樹の林となるので、これをこの地域の「潜在自然植生」とよぶ。

ヒトが樹林を管理したり、植林したりするにはどんな樹林にしたいのか目標が要る。かつて薪炭林として活用されてきた南山は大部分が落葉樹林にされ、頻繁な下草刈りや間伐などヒトの管理で保たれてきた。

一方で、自然植生を重視すべきだと言う考えも有る。「鎮守の森の復元」を目指して植林活動しているグループでは、「潜在自然植生」となる常緑樹林を作る苗を植える。比較的安定した自然植生では、落葉樹林に比べ管理が楽という利点もある。

南山でこれからどれだけ樹林が復元できるかまだわからない。もし落葉樹林なら、相当な管理もしなければいけない。けれど失ってしまった植生の幾ばくかでも取り戻し、これから育てるつもりならば、それなりの苦勞も覚悟が必要だ。それを踏まえた上で、どんな樹林にするか決めれば良いだろう。



活動だより 今後、会報で皆様へ3カ月前後の活動結果と活動予定を案内させていただきます。

- 1/14 (土) ワークショップ(第3回)/奥畑谷戸10時～14時 参加者 7名
- 1/15 (日) 運営会/城山体験学習館14時～17時 参加者 6名
- 1/19 (木) オオタカ活動報告/日大 参加者 2名
- 1/27 (金) オオタカ前年度観察報告/都庁 参加者 2名
- 2/2 (木) オオタカ調査/8時～ 参加者 1名
- 2/5 (日) ワークショップ(第4回)/組合事務所10時～14時 参加者 8名
- 2/5 (日) 運営会/城山体験学習館14時～17時 参加者 5名
- 2/19 (日) オオタカ調査/8時～ 参加者 2名

- 3/3 (土) サンショウウオシンポジウム/高幡不動 10時～16時30分
- 3/4 (日) 総会/城山体験学習館14時～17時
- 3/25 (日) サンショウウオ観察会/八王子※
- 4/28 (土) 竹の子堀/南山 会員、端数倶楽部対象
- 5月 バードウォッチング/南山 会員、市民対象

※サンショウウオ保全の池を現地見学します。

南山では現在トウキョウサンショウウオの移植と育成の計画が進んでいます。しかし、その保護のための池や環境作りのイメージはまだ十分にできていません。

そこで、実際にサンショウウオの保護活動を行っている八王子市の現場に見学に行き、参考にしたいと思います。参加できる方は事前にご連絡ください。

●日時:3月25日(日曜)

※場所・時間に付いては追って連絡します。

●担当 桜井:irakusa6697@yahoo.co.jp TEL:090-3547-1067